

授業改善の秋



実りある授業研究を組織的に進めましょう

2学期は、一人1研究授業等が計画的に実施されるなど、授業改善を中心に学力向上対策を進める学校が多く見られます。

昨年度、各学校等に配付したリーフレット「学力向上のための3つの視点・5つの取組」の視点1「授業改善の充実」の3つの取組について、学校訪問の様子や全国学力・学習状況調査の結果分析等を踏まえて、各学校の取組のよさ(○)や課題(●)とともに、充実・改善のポイントを示しました。

自校の取組を振り返り、下に示す「授業改善を組織的に進めるために」を参考にして、成果を実感できる授業改善を学校全体で進めましょう。

**学力向上のための3つの視点・5つの取組**  
西部教育事務所 (H25.10)  
平成25年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、校内研修等において以下の3つの視点・5つの取組を再確認して実践し、子どもの確かな学力の向上に努めましょう。

**主体的に学ぶ子どもを育てよう**  
毎日の授業において、学習課題の解決に向けて自分の考えを広げたり深めたりするとともに、家庭学習に自ら取り組むことを通じて、学びの楽しさを味わいながら、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力等を身に付けるとともに学力を高めていきましょう

<p><b>取組①</b> 子どもが考える場面を意図的につくりましょう</p> <p>子どもが考えた内容を整理し、子どもの発言や記述などに基いて、子どもが考えやすいよう工夫して問いかけたりするなど、子どもが主体的に考える場面を意図的につくりましょう。</p>	<p><b>取組②</b> 指導と評価の一体化を図りましょう</p> <p>目指す子どもの学習評価項目を示して授業を行い、子ども一人一人の学びを確実に把握するとともに、その子に応じた学習支援の必要性を指導と評価の一体化に基いて、本時の振り返りを通して確認しましょう。</p>	<p><b>取組③</b> 子ども一人一人の資質・能力を確実に伸ばしましょう</p> <p>子どもの学習状況を踏まえ、種々の課題を準備し、個に応じた学習支援を行うなど、基礎的・基本的な知識・技能や思考力等を身に付けるとともに学力を高めていきましょう。</p>
---	---	---

**視点2 指導体制の充実**  
取組④ 少人数指導の充実や教科担任制に取り組みましょう

**視点3 家庭学習の充実**  
取組⑤ 自ら学ぶ家庭学習の習慣を身に付けさせましょう

**取組① 子どもが考える場面を意図的につくりましょう**

- 子どもが発表する時間や話し合う時間が増えています。
- 子どもの考えを引き出したり思考を深めたりするよう発問を工夫しています。
- 子どもが解き方や考え方が分かるようにノートを書くよう指導しています。

＜充実のポイント＞

子どもが思考する時間や場面を確保し、子どもの意見をつないで思考を深めさせる授業づくりに取り組みましょう。

**取組② 指導と評価の一体化を図りましょう**

- 授業の最初に本時のめあてを示し、授業の最後に学習の振り返りを行う授業が増えています。
- 単元等のねらいを踏まえた言語活動が行われています。
- 子どもが国語の学習で目的をもって資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりするよう指導しています。

＜充実のポイント＞

課題解決に取り組む一人一人の子どもの学びを確実に見取り、個に応じた手立てを講じて本時の目標を達成させましょう。

**取組③ 子ども一人一人の資質・能力を確実に伸ばしましょう**

- 国語や算数・数学の指導で、補充的な学習を取り入れている学校が増えています。
- 基礎的・基本的な内容が身に付いている児童が増えています。
- 一人一人の資質・能力を高めるために発展的な学習を取り入れることが課題となっています。

＜改善のポイント＞

思考力を高める発展的な課題に取り組む場や時間、教材を工夫して、子ども一人一人の資質・能力を確実に伸ばしましょう。

課題となっているところは、特に、重点を置いて取り組みましょう。

＜授業改善を組織的に進めるために＞課題の解決に向けて、PDCAのサイクルで授業改善を進めましょう。

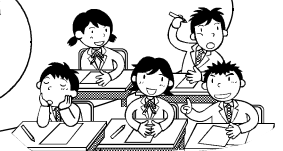
全国学力・学習状況調査の結果分析等から、自校の授業づくりにかかわるよさや課題を明らかにし、共有する。

校内研修の場で協議し、「子どもが思考する時間を確保する」、「毎日の授業で、めあてをもたせ、振り返りを行う」など、学校全体で取り組む授業改善の重点を決定し、共通理解する。

各教師が、毎日の授業において授業改善の重点を実践する。

校内の授業研究会で、授業改善の重点を取り入れた授業イメージを共有したり、手立ての有効性を検証したりする。

各教師が、校内授業研究を通して日々の実践を振り返り、課題を明確にする。



本年度の授業改善の成果と課題を明確にし、次年度の学力向上対策に生かす。

